

IUFRO-J NEWS

No. 120 (2017.3) —



連載：IUFRO と国際連携－4

—次世代森林研究者と教育者の育成—

IUFRO 常任理事 Alexander Buck

IFSA/IUFRO ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー Janice Burns

はじめに

森林や樹木に関する研究には長期的な視野が必要です。そのため、IUFRO が次世代の研究者や教育者を育成し、支援することは極めて重要です。現在の IUFRO 戦略 2015-2019 では、この次世代育成を基幹目標^(注)に含めることで、IUFRO はジェンダー、文化、地理的多様性の促進に特に重点を置いています。

IUFRO の若手研究者への支援は、国際森林学生協会 (IFSA) との強力なパートナーシップ、学術賞を通じた森林科学の優れた成果の認識、さらに IUFRO-SPDC (能力開発のための IUFRO 特別プログラム) を介して提供された支援が特に際立っています。

IUFRO 及び IFSA



IUFRO と IFSA は、協働連携してきた長年の伝統があり、今日もますます発展を遂げています。写真-1 は、IUFRO 会長 (Michael Wingfield 教授) と前 IFSA 会長及



写真-1 IUFRO 会長 (Michael Wingfield 教授, 中央) と前 IFSA 会長 (May Anne Then 氏, 左) 及び 2016-2017 期 IFSA 会長 (Jesse Mahoney 氏, 右) (写真提供: BFW (オーストリア森林研究センター)/IFSA)

び現 IFSA 会長です。IFSA は、世界各地の森林の学生を幅広い活動において結びつける非政治的、非宗教的、非営利団体です。IFSA と IUFRO は 2002 年に覚書 (MOU) を締結していますが、森林教育の発展に重点をおく取り組みは、MOU 締結の前に既に確立されており、MOU 締結以降も、両組織の関係は強化され続けています。2013 年には、両組織のニーズに対応し、更なる協働と共同活動の構築を促進するために、フルタイムの

IFSA インターンシップ (ウィーン IUFRO 本部)

数年間にわたり IUFRO は IFSA ローカル委員会の学生にインターンシップの機会を提供してきました。

今年は、2017 年 10 月中旬から 2 カ月間、1 人の学生が IUFRO で働けます。

詳細及び申請手続きについては以下をご覧ください。

<http://www.iufro.org/news/article/2017/03/08/ifsa-internship-at-iufro-headquarters-vienna/>

申込締切り：2017 年 4 月 14 日

IUFRO 本部 IFSA インターンシップ募集案内



写真-2 オーストリア共和国及びドイツ連邦共和国主催第 44 回国際森林学生シンポジウム（2016 年 8 月）における IFSA 学生（写真：BFW/IFSA）

「ジョイント・ポジション」が設立されました。2014 年には両組織の間の MOU が更新され、さらに 2015 年に「森林教育に関する IUFRO-IFSA 共同タスクフォース (Joint IUFRO-IFSA Task Force on Forest Education)」が設立されました。

このパートナーシップは、森林教育の分野を発展させ、IFSA と IUFRO のメンバーに同様の機会を創出しています。IUFRO は、IFSA の学生に年に 1 度のインターンシップの機会を提供し、IUFRO 大会に招待し、国際会議のサイドイベントを IFSA と共同開催しています。これらの機会を通じ、両組織のメンバーはアイデアや経験を交換しながら繋がるができます。写真-2 から写真-4 は IFSA の学生が IUFRO 関連シンポジウムやワークショップで活躍する光景です。



写真-3 オーストリア共和国及びドイツ連邦共和国主催第 44 回国際森林学生シンポジウム（2016 年 8 月）における IFSA 学生集合写真（写真：BFW/IFSA）



写真-4 森林ガバナンスに関するジョイントタスクフォースワークショップ（コロンビア共和国）への参加者（写真：Dr. Sandra Rodríguez-Pineros）

「森林教育に関する IUFRO-IFSA 共同タスクフォース」は、教育環境のさまざまな視点を一つにまとめたユニークなプロジェクトです。非政府組織、研究者、及び学生は、森林教育の未来を形成するためのタスクフォースのパイロット・アクションで連携して作業を行っています。タスクフォースは、ステークホルダーの視点と知識を結び付けること、国際的議論と能力向上を促進すること、特に、新しい分野の森林教育に重点を置き森林教育におけるギャップと課題を特定すること、さらに林業学生のモビリティと機会を強化することを目的とします。

昨年、「森林教育に関する IUFRO-IFSA 共同タスクフォース」は、国際森林情報サービス (GFIS, <http://www.gfis.net/gfis/education/>) (p.11) の中に新しいオンライン森林プログラムデータベースを立ち上げ、林学カリキュラムでは少ないトピックに関するいくつかの学生研修を開催し、グローバルな研究プロジェクト「森林教育に関する世界的な展望 (Global Outlook on Forest Education)」に関する活動を開始しました。日本の森林総合研究所と東京大学の研究者は、この世界的な研究プロジェクトに積極的に貢献しています。その活動は、専

門的能力と森林カリキュラムの失敗との間の総合的なギャップ分析に基づき、将来の学習方法やアプローチを推薦する科学レポートを作成することを目的としています。

2016年10月に北京で開催されたIUFROアジア・オセアニア大会期間中、「森林教育に関するIUFRO-IFSA共同タスクフォース」は、「変化する環境における森林教育」に関するセッションに貢献するよう参加者に要請しました。このセッションは世界から集まった大会参加者を魅了しました。森林総合研究所の井上真理子氏は「日本の高等学校の森林・林業教育の歴史的変遷と現状 (Forest and Forestry Education in Japanese High Schools: a historical review and present situation)」と題する講演を行いました(写真-5)。「森林教育に関するIUFRO-IFSA共同タスクフォース」は、IUFROアジア・オセアニア地域大会に続き、ドイツ連邦共和国のフライブルクで開催されるIUFRO第125周年記念大会2017テクニカルセッションで、森林教育及び2つの学生主催研修を計画しています。

IUFRO 賞

IUFRO世界大会では、優れた学問的業績を成し遂げた学生や若手研究者が表彰され、認知されています。

IUFRO優秀学生賞 (ISA)：森林科学の優秀者に贈られるIUFRO優秀学生賞 (The IUFRO Student Award for Excellence in Forest Science (ISA)) は、5年毎の大会期



写真-5 井上真理子氏, IUFROアジア・オセアニア地域大会セッション「変化する環境における森林教育」での講演 (写真: Dr. Mika Rekola, Coordinator of IUFRO Working Group 6.09.00-Forest Education[†])

[†] IUFRO WG 6.09.00 森林教育アクションプランではIFSAとの連携による森林教育推進を提唱

間内に大学在学中あるいは卒業後3年以内の修士号を持つ学生 (またはそれに準ずる者) が森林科学分野で成し遂げた業績を表彰し、IUFROが対象とする研究分野でのさらなる研究を奨励しています。IUFRO世界大会のメインテーマ及びサブテーマに関連する成果に、最高3個の賞が授与されます。

IUFRO優秀博士研究賞 (ODRA)：IUFRO優秀博士研究賞 (The Outstanding Doctoral Research Award (ODRA)) は、博士号取得後6年以内の若手研究者で優れた科学的業績を表彰し、IUFROが対象とする研究分野でのさらなる研究を奨励しています。IUFRO研究部会につき1つのODRA賞が各世界大会で授与されます。

ブラジル連邦共和国・クリチバで開催される2019世界大会IUFRO賞の推薦募集が開始されました。詳細については、下記ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.iufro.org/news/article/2017/03/06/iufro-world-congress-2019-nominations-for-awards/>

IUFRO-SPDC

IUFRO-SPDC (能力開発のためのIUFRO特別プログラム) の使命は、開発途上国や経済的に恵まれていない国における森林研究の能力を拡大・育成することです。2016年に、IUFRO-SPDCは、ルワンダとエルサルバドルで知識共有ワークショップを開催し、また、北京においては、IUFROアジア・オセアニア地域大会に先立って、3日間の研修ワークショップを開催しました(写真-6)。さらに、経済的に恵まれていない国からの研究者の参加には、IUFRO-SPDCの科学者支援プログラム(SAP)による支援があります。

SAPでは、アフリカ、アジア、中南米の経済的に恵まれていない国から参加する森林研究者に、IUFROの研究部会、研究グループ、及び作業部会が主催する学術会議や会合に参加するための渡航援助を行っています。とりわけ、研究者としての専門知識と技術をさらに向上させる必要がある若手・中堅の森林科学者 (46歳未満) が優先されます。候補者の選択には、地理的及びジェンダーバランスが配慮されます。

IUFRO-SPDCは、2017年6月にプエルトリコで開催される森林ランドスケープ回復 (Forest Landscape Restoration, FLR) に関する国際知識共有ワークショップ、そして9月にフライブルクで開催されるIUFRO第125周年記念大会 (IUFRO-2017) での大会前の研修の調整を進めています。



写真-6 アジア・オセアニア地域大会（北京、2016年10月）の大会前研修に向けた IUFRO-SPDC システムチェックレビュー、左端は左端は Prof. Gill Petrokofsky, Deputy Coordinator of IUFRO Working Party “9.01.01-Library, information networks and terminology” (写真：Dr. Liezl Grefalda)

おわりに

これまで私たちが関わってきた IUFRO をめぐる活動を通じていえることは、IUFRO-2017 等のイベントが、特に若手研究者や学生にとって世界中の研究者と研究を共有し、貴重な新しい関係を得る重要な機会を提供するということです。IFSA への参加に興味をお持ちの学生の方々におかれましては IFSA 参加募集案内 (p.12) をご参照ください。日本からも多くの研究者に IUFRO 第 125 周年記念大会 2017 にご参加いただき、一緒に祝福できることを心から願っています。

注：基幹目標

<http://www.iufro.org/discover/strategy/>

(翻訳：IUFRO-J 事務局 川元スミレ)

IUFRO 国際研究集会「FORCOM/SFEM/2016」開催報告

三重大学大学院生物資源学研究科 松村直人

はじめに

平成 28 年 8 月 30 日～9 月 2 日の 4 日間に渡り、三重大学を主会場に、森林計画学会、統計数理研究所リスク解析戦略研究センター、FORMATH 研究会共同主催、三重大学大学院生物資源学研究科、三重県、IUFRO Div.4.0,4.02.02、中部森林学会後援のもと、「IUFRO International Symposium FORCOM/SFEM/2016 — Sustainable Forest Management in a Rapidly Changing World: Philosophy and Technology for Forest Resource Management —」を開催した。このシンポジウムは「森林資源管理の哲学と技術」をメインテーマとし、宇都宮大学で開催された FORCOM2004（次世代のための森林の役割—森林資源管理の哲学と技術）、三重大学で開催された FORCOM2011 に続き、今後の森林資源管理の研究展開を狙うと同時に、森林計画学会を中心に、日本・韓国・台湾の 3 カ国をホストに、研究者間の交流と若手研究者間のネットワーク構築の場を提供することを目的として平成 25 年に始まった SFEM (Sustainable Forest Ecosystem Management) の日本開催をも意図したものである。また、本シンポジウムは平成 28 年度森林計画学会夏期セミナーも兼ねて

実施した。

今回のシンポジウムでは、3 件の基調講演と 3 分野 10 件の口頭発表と 16 件のポスター発表があった。また、9 月 1 日～2 日には、2 件の三重県南部への日帰り見学会があり、それぞれ「大台町水源の森」と「伊勢神宮宮域林（伊勢市）」を訪問した。シンポジウム参加者は計 52 名、そのうち海外（韓国、台湾、フィリピン）計 18 名、国内では一般 22 名、学生・院生 12 名であった（写真-1）。

シンポジウム概要

8 月 29 日（月）の午後、津駅前での森林計画学会事前打ち合わせの後アイスブレイク会場へ移動し、事務局と主要参加者との交流を行った。

シンポジウム初日は、三重大学生物資源学部大講義室での開催に当たって、梅川逸人三重大学大学院生物資源学研究科長と佐野明三重県林業研究所研究管理監から歓迎の祝辞をいただき、その後、集合写真撮影の後、森林計画学会長田中和博京都府立大学教授による基調講演「LiDAR 技術が森林管理哲学に革命の変革をもたらす」が行われた。午後は一般講演に移り、「間伐収穫材積の



写真-1 集合写真



写真-2 口頭発表（広嶋氏・東大演）



写真-4 亀岡教授の基調講演



写真-3 歓迎会の一コマ

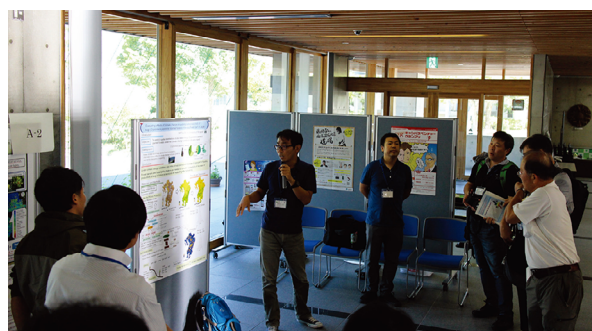


写真-5 ポスターセッションの様子

予測」,「生態的立地モデル」,「台湾の混交林成長」,「韓国のカラマツ材積表」,「UAVを利用した樹高評価」,「屋久杉の年輪解析」,「コーヒーの認証栽培」などの報告があった(写真-2)。その後、学内の食堂パセオにて歓迎会を開催した(写真-3)。

2日目の8月31日は、環境・情報科学館に会場を移し、亀岡孝治三重大学教授による基調講演「農業ICTの日本における現状」が行われた(写真-4)。その後ポスター発表を行い、「気候変動による生産力評価」,「森林成長予測」,「幹曲線評価」,「木材価格変動」,「森林環境教育」,「UAVの森林モニタリングへの応用」など、

多岐にわたる森林計測、森林成長評価に関する発表が行われた(写真-5)。また、3D地上レーザースキャナーを利用した森林計測のデモも行われた(写真-6)。

午後は実行委員会を代表して、松村による基調講演「森林の強靱化は地域に繁栄をもたらすか？」が行われた後、一般講演に移り、「木材価格のARIMAモデル」,「林業とエコツーリズム」,「台湾の竹ペレット」などの発表があった。



写真-6 3D地上スキャナーのデモ（森林再生システム）



写真-8 大台町見学会・水源の森



写真-7 お別れパーティの様子



写真-9 森の番人・生産工場

その後、IUFROの5つの研究戦略の紹介と今後のアジアにおける研究交流の可能性、Agendaの取りまとめなどのセッションを設け、成功裏にシンポジウムを終了した。

お別れパーティは医学部病院の12階にあるレストランに移動し、伊勢湾を見渡すすばらしい景色を堪能しながら、名残を惜しみつつ開催された（写真-7）。

現地見学会について

9月1日プログラム 大台町水源林見学

大台町は清流宮川の源流部に位置し、3万haの森林と41%の人工林率を誇りながら、過疎に悩む典型的な山村である。しかしながら、独自の森林ゾーニングに先進的に取り組み、現在は地域性苗木による広葉樹造林、清流宮川を活かした水ビジネス（森の番人のブランド）、炭素クレジットの導入など、進取の気風もあふれる土地柄である。

森林立地評価にも取り組み、いち早く、作業班フォレストファイターズの編制、プレカット工場の導入、カー



写真-10 森の番人・伊勢志摩サミット記念バージョン

ボン・オフセットの活用にも先駆けて取り組んでいる。

今回は水源の森の見学と伊勢志摩サミットの公式飲料水にも選定された「森の番人」工場の見学を中心に、町内の見学を行った（写真-8～10）。



写真-11 伊勢神宮宮域林見学会（伊勢市）

9月2日プログラム 伊勢神宮宮域林見学

2日目は、伊勢市山林の大部分を占める伊勢神宮の宮域林見学であった（写真-11）。この宮域林は、約2000年前から「大御山の山」としてあがめられている。神宮司庁営林部のご案内で、20年ごとの「式年遷宮」に備え、御造営用材を生産する施業地の見学を行った。将来的に残す木を二重ペンキ、一重ペンキでマークし、その樹の肥大成長促進のため、間伐は周辺の隣接木の強度伐採（受光伐）を基本としている。200年での収穫を目指し、haあたり100本程度の収穫、平均胸高直径は大樹候補（二重ペンキ）で100cm、御造営用材候補（一重ペンキ）で60cm以上を目標としている。

その後は各自参拝客で賑わう「おかげ横丁」にて昼食を摂り、帰路についた。

おわりに

最後に実行委員会委員も含め、関係各位に厚くお礼申

し上げる。座長を快く引き受けていただいた龍原哲氏（東大）、高橋正義氏（森林総研）、木島真志氏（琉球大）、広嶋卓也氏（東大演）、共同主催していただいた統計数理研究所リスク解析戦略研究センター吉本敦氏、後援いただいた三重県農林水産部、助成いただいたIUFRO-J、見学会に対応いただいた大台町役場、神宮司庁営林部関係各位、三重県林業研究所、三重大学生物資源学部緑環境計画学研究室の各位に感謝する次第である。

今回のシンポジウム報告は、森林計画学会英文誌に要旨集ならびにその後の投稿論文集として、特集号で編集、発行される予定である。また、SFEMシンポの来年度開催が韓国で予定されており、アジア地域における今後の研究交流のさらなる発展が期待される。また、今回のシンポジウムでの発表、討論、現地見学などが、参加各位の今後の研究の発展に貢献し、さらに実り多い成果となることを祈念している。



◇1 第25回 IUFRO 世界大会 2019（ブラジル連邦共和国、クリチバ）における IUFRO 賞の候補者推薦募集

本誌の「IUFRO と国際連携 4- 次世代森林研究者と教育者の育成」で記載のある IUFRO 優秀学生賞（ISA）と IUFRO 優秀博士研究賞（ODRA）を含め、以下の IUFRO 賞の募集が始まっています。締切りは2018年8月31日、「IUFRO と国際連携」の連載ご担当の IUFRO

常任理事 Alexander Buck 氏（office@iufro.org）宛てに、IUFRO 賞委員会議長である John Innes 教授（john.innes@ubc.ca）に CC をつけて候補者をご推薦ください。

詳細は以下をご覧ください。

<http://www.iufro.org/discover/awards/>

- Scientific Achievement Award (SAA)
- Outstanding Doctoral Research Award (ODRA)
- Iufro Student Award for Excellence in Forest Science (ISA)
- Best Poster Award (BPA)
- IUFRO World Congress Host Scientific Award

◇ 2 IUFRO 刊行物 (2016 年 4 月以降出版)

IUFRO 文献は <http://www.iufro.org/publications/archive/> をご参照ください。

2.1 IUFRO News

IUFRO 内外の森林関係国際会議情報を含めた IUFRO News は、年 10 回 IUFRO 本部から主要情報を提供され、IUFRO メンバーと公職者、その他の関係者に広く配布されています。IUFRO News 投稿をお考えの際には、IUFRO のウェブサイトコンテンツに貢献するか、IUFRO Spotlight を経由する必要があります。最新の IUFRO News は 46 巻 No.2/3 (3 月 21 日) です。以下から PDF 版をダウンロードできます。

<http://www.iufro.org/publications/news/electronic-news/>

2.2 IUFRO Spotlight

IUFRO Spotlight は IUFRO イニシアチブです。IUFRO の公職者やメンバーから、時機を逸せずに、意思決定者、政策立案者や研究者による世界的ネットワークへ森林研究の重要な発見を紹介することを目的としています。IUFRO はそれらの発見の政策関連ハイライトを、全文アクセスへの情報とともにメール配信しています。
<http://www.iufro.org/publications/iufro-spotlights/>

- 2017-02-22: IUFRO Spotlight #44 - Evidence linking community forest rights and improved forest condition inconclusive
- 2016-12-19: IUFRO Spotlight #43: Helping forests and people adapt to changing times and climes
- 2016-11-17: IUFRO Spotlight #42: Forest Education Changing to Reflect Times
- 2016-11-08: IUFRO Spotlight #41 - Sustainable Planted Forests to Meet Growing Global Needs
- 2016-10-06: IUFRO Spotlight #40 - Biological Invasions: An Undesired Effect of Globalization
- 2016-07-19: IUFRO Spotlight #39 - Governments Reclaiming Role in Forest Certification
- 2016-07-05: IUFRO Spotlight #38 - Climate Change and Invasive Alien Species Worsen Outlook for Forest Health

2.3 IUFRO World Series

2016-12-03: World Series Vol. 35 - Illegal Logging and Related Timber Trade – Dimensions, Drivers, Impacts and Responses. A Global Scientific Rapid Response Assessment Report (違法伐採及び関連木材取引—次元, 原動力, インパクト, 及び応答に関する新しい科学的アセスメント報告書) については本誌 119 号の IUFRO と国際連携 3 で背景を含めて詳細に紹介されています。第 35 巻の PDF 版は以下からダウンロードしてください。

IUFRO Website: <http://www.iufro.org/publications/series/worldseries/article/2016/12/03/world-series-vol-35-illegal-loggingand-related-timber-trade-dimensions-drivers-impacts-and/>

IUFRO World Series の冊子体は、全巻、森林総合研究所図書館から貸出可能です。

◇ 3 第 26 回 IUFRO 世界大会の主催地の公募

IUFRO 本部から国際評議員と IUFRO 加盟機関にリマインド (Call for Bids - Reminder) が届いています。

第 26 回 IUFRO 世界大会 (2024) 主催地公募に対する応募書類提出締切は 5 月 31 日です。

入札のルールは以下の通りです。

http://www.iufro.org/download/file/24927/81/iwc24-congress-bidding-rules_pdf/

◇ 4 IUFRO 第 125 周年記念大会 2017



IUFRO

125th Anniversary Congress 2017

19 – 22 September 2017
Freiburg, Germany

iufro2017.com



IUFRO 125th Anniversary Congress 2017

☆ IUFRO 第 3, 4, 6, 7, 9 部会全体会議が IUFRO 第 125 周年記念大会 2017 の中で開催されます。

Freiburg, Germany; 19-22 September 2017

コンタクト : <http://iufro2017.com/contacts/>

Congress Organization Chair

Prof. Konstantin von Teuffel

iufro2017@forst.bwl.de

Homepage: <http://iufro2017.com/>

Twitter: https://twitter.com/iufro_2017, #IUFRO2017

Facebook: <https://www.facebook.com/iufro2017/>

早期登録開始：2017年3月23日-6月1日

◇ 5 IUFRO 主要イベント

IUFRO 主要イベントについては、「IUFRO MEETINGS」及び IUFRO-J 英語ウェブサイトを次の URL でご参照ください。

<http://www.iufro.org/discover/noticeboard/iufro-meetings/>

http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/index_Eng.htm

5.1 IUFRO 第 5 部会全体会議

IUFRO All-DIVISION 5 Conference

- Forest Sector Innovations for a Greener Future

Vancouver, BC Canada; June 12-16, 2017

<http://www.iufrodiv5-2017.ca/>

60th International Convention of the Society of Wood Science and Technology (SWST) 共同開催

事務局：

2424 Main Mall

IUFRO 第 125 周年記念大会 2017

	Sun, 17 Sep.	Mon, 18 Sep.	Tue, 19 Sep.	Wed, 20 Sep.	Thu, 21 Sep.	Fri, 22 Sep.
07:00	Registration	Registration	Registration	Registration	Registration	Registration
08:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr
09:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
10:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
11:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
12:00	Lunch Break IUFRO Business Sessions	Lunch Break IUFRO Business Sessions	Lunch Break IUFRO Business Sessions	Lunch Break IUFRO Business Sessions	Lunch Break IUFRO Business Sessions	Lunch Break IUFRO Business Sessions
13:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
14:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
15:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
16:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
17:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
18:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
19:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
20:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
21:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
22:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
23:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
24:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
25:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
26:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
27:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
28:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
29:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
30:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
31:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
32:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
33:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
34:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
35:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
36:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
37:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
38:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
39:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
40:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
41:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
42:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
43:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
44:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
45:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
46:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
47:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
48:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
49:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
50:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
51:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
52:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
53:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
54:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
55:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
56:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
57:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
58:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break
59:00	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 2.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr	Concurrent Scientific Sessions 1.5 hr
60:00	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break	Refreshment Break

Vancouver, BC Canada V6T 1Z4

Email iufro.2017@ubc.ca

早期参加登録締切り：3月31日

<http://www.iufrodiv5-2017.ca/register/>

5.2 第 25 回 IUFRO 世界大会（ブラジル連邦共和国、クリチバ）

Curitiba, Brazil; 29 September - 5 October 2019

(IUFRO-J 事務局)

◇ 6 IUFRO 関連国際研究集会

開催日時	部門	国際研究集会名	開催場所	コンタクト先, Email
2018-09-10 2018-09-15	2.09.02	5th 2.09.02 Working Party Conference	Coimbra, Portugal	Jorge Canhoto and Sandra Correia
2018-03-01 2018-03-31	7.02.13	First Working Party 7.02.13 meeting: Improving forest health on commercial plantations	Punta del Este, Uruguay	Gustavo Balmelli, Email: gbalmelli(at)tb.inia.org.uy
2017-11-02 2017-11-04	5.04.00 5.05.00	11th International "Conference Wood Science and Engineering in the Third Millennium" - ICWSE 2017	Brasov, Romania	Marius Barbu, Email: marcat(at)gmx.at
2017-10-22 2017-10-26	7.01.00	28th IUFRO conference for Specialists in Air Pollution and Climate Change Impacts on Forest Ecosystems: "Actions for Sustainable Forest Ecosystems under Air Pollution and Climate Change"	Fuchu, Tokyo, Japan	Conference Secretariat, Email: iufro.tokyo2017(at)gmail.com
2017-09-26 2017-09-28	5.01.00 5.06.00	9th Pacific Regional Wood Anatomy Meeting (PRWAC)	Denpasar, Bali, Indonesia	Yafang Yin, Email: yafang(at)caf.ac.cn
2017-09-24 2017-09-29	8.01.02	Biannual 8.01.02 Working Party Conference: The Green-Blue Nexus: Forests, Landscapes and Services	Halle, Germany	Sandra Luque, Email: sandra.luque(at)irstea.fr
2017-09-19 2017-09-22	6.00.00	All-Division 6 Conference	Freiburg, Germany	Tuija Sievänen, Email: tuija.sievenan(at)luke.fi
2017-09-19 2017-09-22	9.00.00	All-Division 9 Conference	Freiburg, Germany	Daniela Kleinschmit, Email: daniela.kleinschmit(at)slu.se
2017-09-19 2017-09-22	3.00.00	All-Division 3 Conference	Freiburg, Germany	Woodam Chung, Email: woodam.chung(at)oregonstate.edu
2017-09-19 2017-09-22	4.00.00	All-Division 4 Conference	Freiburg, Germany	Jean-Luc Peyron, Email: jean-luc.peyron(at)gip-ecofof.org
2017-09-19 2017-09-22	7.00.00	All-Division 7 Conference	Freiburg, Germany	Eckehard Brockerhoff, Email: eckehard.brockerhoff(at)scionresearch.com
2017-09-19 2017-09-22	IUFRO	125 Years of IUFRO	Freiburg, Germany	Konstantin von Teuffel, Email: konstantin.teuffel(at)forst.bwl.de
2017-09-13 2017-09-16	5.04.06	13th International IUFRO Wood Drying Conference on Wood Drying in Developing Countries	Istanbul, Turkey	Öner Ünsal, Email: onsal(at)istanbul.edu.tr

開催日時	部門	国際研究集会名	開催場所	コンタクト先, Email
2017-09-12 2017-09-15	5.02.00 5.02.01	20th International Nondestructive Testing and Evaluation of Wood Symposium	Madison, Wisconsin, United States	Xiping Wang, Email: xwang(at)fs.fed.us
2017-09-12 2017-09-14	1.01.06 1.01.00 1.06.00 2.01.15 T31	3rd Restoring Forests: Regeneration and Ecosystem Function for the Future	Lund, Sweden	Magnus Löf, Email: Magnus.Lof(at)slu.se
2017-09-11 2017-09-15	7.03.05 7.03.10	Joint meeting of IUFRO WP 7.03.05 and WP 7.03.10	Thessaloniki, Greece	Dimitrios Avtzis, Email: info(at)iufrogreece2017.com
2017-09-04 2017-09-06	2.09.01	Seed Orchards - The Key to Sustainable Bio-Economy	Bålsta, Sweden	Tomas Funda, Email: tomas.funda(at)slu.se
2017-09-03 2017-09-08	2.02.09	13th International Christmas Tree Research and Extension Conference	Akureyri, Iceland	Gary Chastagner, Email: chastag(at)wsu.edu
2017-08-27 2017-08-30	3.04.00 4.04.04 4.04.06	2017 Symposium on Systems Analysis in Forest Resources (SSAFR)	Squamish, WA, United States	Sandor Toth, Email: toths(at)uw.edu
2017-08-21 2017-08-25	8.00.00	12th International Congress of Ecology "Ecology and Civilization in a Changing World" - INTECOL 2017	Beijing, China	Sandra Luque, Email: sandra.luque(at)irstea.fr
2017-07-24 2017-07-28	3.06.00 3.03.00	Joint Regional Meeting of IUFRO RG3.03.00 and RG3.06.00 in Asia: Productivity and Safety of Final Cutting on Mountain Forests	Matsuyama and Kochi, Japan	Raffaele Cavalli, Email: raffaele.cavalli(at)unipd.it Yozo Yamada, Email: yamada.yozo.fi(at)ehime-u.ac.jp
2017-07-24 2017-07-27	2.08.07	IUFRO INAFOR Joint International Conference 2017, "Promoting Sustainable Resources from Plantations for Economic Growth and Community Benefits"	Yogyakarta, Indonesia	Wickneswari Ratnam, Email: wicki(at)ukm.edu.my
2017-07-18 2017-07-20	IUFRO-SPDC	7th Forest Science Symposium: Research Underpinning the Sustainability of a Diverse Forestry Sector	Pietermaritzburg, South Africa	Sally Upfold, Email: sally.upfold(at)icfr.ukzn.ac.za
2017-07-17 2017-07-21	8.03.06	8th International Conference on Wind and Trees	Boulder, Colorado, United States	Barry Gardiner, Email: barry.gardiner(at)bordeaux.inra.fr Ned Patton, Email: patton(at)ucar.edu
2017-07-11 2017-07-13	1.01.04	Forest Regeneration in Changing Environments	Corvallis, OR, United States	Robert G. Wagner, Email: robert.wagner(at)maine.edu
2017-07-06 2017-07-09	5.00.00	Mini-Symposium "Wood and other lignocellulosic biomass for materials and energy" at International Conference on Materials & Energy (ICOME'17)	Tianjin, China	Fatima Charrier-El Bouhtoury, Email: fatima.charrier(at)univ-pau.fr
2017-06-19 2017-06-21	3.01.03	Coppice Forests in Europe: a traditional natural resource with great potential	Limoges, France	Vincent Morillon, Email: Vincent.Morillon(at)fcba.fr
2017-06-15 2017-06-17	2.04.11	AForGeN 2017	Val Canali, Trentino, Italy	Maria Höhn, Email: Hohn.Maria(at)krtk.szie.hu
2017-06-12 2017-06-16	5.00.00	All-Division 5 Conference - Forest Sector Innovations for a Greener Future	Vancouver, Canada	Pekka Saranpää, Email: Pekka.Saranpaa(at)metla.fi
2017-06-04 2017-06-09	2.04.06	Tree Biotechnology 2017 Conference	Concepción, Chile	Shawn Mansfield, Email: shawn.mansfield(at)ubc.ca
2017-05-28 2017-05-31	5.04.08	23rd International Wood Machining Seminar (IWMS-23)	Ozarów Mazowiecki - Warsaw, Poland	Michał Strzelecki, Email: michal.strzelecki(at)oigpm.org.pl
2017-05-24 2017-05-26	1.00.00 3.00.00 4.00.00	II International Conference "Forests of Russia: Policy, Industry, Science and Education"	St. Petersburg, Russia	Maxim Chubinsky, Email: mchubinsky(at)gmail.com
2017-05-19 2017-05-21	9.04.03	Third Global Forum for Ecological Economics in Forestry (GFEF 2017): "Harmonious Future for Human Wellbeing"	Nanchang, Jiangxi Province, China	Zuomin Wen, Email: zmwen(at)njfu.edu.cn
2017-05-17 2017-05-19	8.01.04	Water - Soil - Waste: 2nd Dresden Nexus Conference: Session A.4 - Water and Soil Related Ecosystem Services provided by Forests and Agroforestry Systems	Dresden, Germany	Yanhui Wang, Email: waingyh(at)caf.ac.cn
2017-05-17 2017-05-19	6.06.00	International Conference on Landscape & Human Health - Forests, Parks and Green Care	Vienna, Austria	Conference Organizing Committee, Email: office(at)landscapeandhealth.at
2017-05-07 2017-05-11	7.02.02	Meeting of Working Party 7.02.02 Foliage, Shoot and Stem Diseases of Forest Trees	Niagara Falls, Ontario, Canada	Tod Ramsfield, Email: Tod.Ramsfield(at)canada.ca
2017-04-19 2017-04-21	1.06.00 3.02.00 T32 T31	Sustainable restoration of Mediterranean forests - Analysis and perspective within the context of bio-based economy development under global changes	Palermo, Italy	Donato Chiatante, Email: donato.chiatante(at)uninsubria.it
2017-04-04 2017-04-07	8.01.02	COST FP1204 - Green Infrastructure: Nature-based solutions for sustainable and resilient cities	Orvieto, Italy	Giovanni Sanesi, Email: giovanni.sanesi(at)uniba.it
2017-03-19 2017-03-25	7.02.09	8th Meeting of IUFRO Working Party 7.02.09: Phytophthora in Forests and Natural Ecosystems	Sapa, Vietnam	Giles Hardy, Email: G.Hardy(at)murdoch.edu.au
2017-02-27 2017-03-02	3.00.00	Precision Forestry 2017: Producing More from Less. Towards Optimising Value in the Bio-economy from Data Driven Decisions	Stellenbosch, South Africa	Pierre Ackerman, Email: packer(at)sun.ac.za

事務局からのお知らせ

1. IUFRO-J 平成 29 年度機関代表会議のご案内

第 128 回日本森林学会大会が鹿児島大学（鹿児島市郡元 1-21-24）で 3 月 26 日（日）～ 29 日（水）の日程で開催されます。それにあわせて標記会議を開催いたしますので、機関代表者の方のご参加をお願いいたします。

日時：2017 年 3 月 29 日（水） 午前 8：00～9：00

場所：鹿児島大学農学部 101 号教室（西側）

議題：会務報告、会計決算報告、監査報告、事業計画案、予算など

代表会議で取り上げるべき議題がございましたら、事務局主事川元（iufro-j@ffpri.affrc.go.jp）宛にご連絡願います。

2. IUFRO-J 研究集会事務局・参加助成

2018 年 3 月までに開催される研究集会に対し、2016 年 12 月末までに、事務局助成 2 件の応募がありました。選考委員及び事務局による審査の結果、以下の助成を実施いたします。

○事務局助成（2 件各 20 万円）

－ IUFRO 7.01.00 共催研究集会「28th IUFRO conference for Specialists in Air Pollution and Climate Change Impacts on Forest Ecosystems: “Actions for Sustainable Forest Ecosystems under Air Pollution and Climate Change” (IUFRO Tokyo 2017)

2017 年 10 月 22 日～ 26 日

東京農工大学農学部、山梨富士山研究所、現地検討会で「明治神宮の森」を見学（予定）

－ IUFRO Division 3（第 3 部会）の RG3. 03. 00（森林労働科学）と RG3. 06. 00（山岳地の森林作業研究）のアジア地域合同ミーティング

2017 年 7 月 24 日～ 7 月 28 日

愛媛大学情報メディアセンターならびに高知県

2019 年 3 月までに開催される IUFRO 国際研究集会についても、助成申請を随時受付いたします。希望者は 2017 年 12 月末までに、規定の書式に従い助成申請書を提出してください。申請書の様式は下記の IUFRO-J ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/labs/iufroj/jyosei.htm>

3. GFIS（国際森林情報サービス）

IUFRO 以外の森林林業木材関係の国際研究集会や国

際機関等から発信されるニュースなどの情報は、GFIS（Global Forest Information Service）ウェブサイトをご覧ください。<http://www.gfis.net/>

IUFRO-J NEWS No.117 号は、「連載：IUFRO と国際連携 1」で IUFRO と GFIS との関連を紹介しています。GFIS は森林に関する協調パートナーシップ（Collaborative Partnership on Forests: CPF）のイニシアティブとして正式に認識され、350 機関以上が情報提供機関として登録しています。IUFRO 関連イベント以外にも包括的な森林研究情報を入手することができ、本誌の国際連携 4 で紹介されている IFSA 情報も閲覧することができます。基本は英語で情報提供されますが、ニュースについては IUFRO と協力関係にある国際熱帯木材機関（ITTO）や森林総合研究所の最新ニュースを日本語で閲覧することができます。

IUFRO-J 会員主催の森林関係国際研究集会情報は、IUFRO-J 事務局を介して GFIS に提供可能です。採扱は GFIS の判断によります。森林関係国際研究集会情報を GFIS に掲載をご希望の方は IUFRO-J 事務局 iufro-j@ffpri.affrc.go.jp にご連絡ください。



IUFRO アジア語パンフレット表紙

4. IUFRO アジア言語パンフレット

IUFRO アジア・オセアニア地域大会（2016 年 10 月）では、英語とともに中国語、日本語、韓国語による IUFRO パンフレット冊子体の配布が行われました。日本語訳は IUFRO-J 事務局が担当しました。PDF を下記からダウンロードすることができます。

http://www.iufro.org/download/file/26010/3684/IUFRO-AO-2016-brochure_pdf

冊子体を貸出希望の方は森林総合研究所図書室にご連絡ください。また IUFRO から IUFRO-J 事務局にいたっている余部をご希望の IUFRO-J 加盟機関は IUFRO-J 事務局 iufro-j@ffpri.affrc.go.jp にご連絡ください。

5. IFSA 参加募集案内

連載記事, 「IUFRO と国際連携 -4」をご寄稿ください
ました IFSA/IUFRO ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー Janice Burns 氏より, IFSA 参加募集案内が届いています。加盟詳細につきましては以下英語 IFSA ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ifsa.net/membership/application-form/>

6. IUFRO-J 事務局英語ウェブサイト

IUFRO 大会, IUFRO 研究部会全体会議 (All-Division Conference), 及び国内で開催される IUFRO 研究集会は, IUFRO-J 事務局英語ウェブサイトに掲載していますのであわせてご覧ください。

http://www.affrc.go.jp/labs/iufroj/index_Eng.htm

また, IUFRO 非加盟機関 (IUFRO-J では B, C 会員) の研究者個人も Associated member (準会員) として IUFRO に加入することができます。IUFRO 本部の許可を得て, IUFRO 本部「Join IUFRO」に IUFRO-J 英語ウェブサイトからリンクしています。IUFRO に加入をご希望の B 機関に所属する研究者, C 会員の研究者の方は, 直接 IUFRO にコンタクトすることができますし, あるいは IUFRO-J 事務局までご連絡いただければ, 事務局より IUFRO 本部に加入の意向を確実に伝えることができますのでご一報ください。

<http://www.iufro.org/membership/benefits/>

7. IUFRO 名称と目的

IUFRO (International Union of Forest Research Organization, 略してユフロ) は, 森林関連の研究におけるグローバルな協力を推進すると同時に, ステークホルダーや意思決定者へ科学的知見を発信しています。IUFRO は, 1892 年に設立され, オーストリア共和国のウィーンに本部を置く世界的, 非営利, 非政府, かつ非差別的組織です。2017 年に開催される IUFRO 第 125 周年記念大会は, IUFRO の設立を記念する重要な世界大会です。IUFRO は, 森林および林産研究や関連分野に貢献するすべての個人や組織に開かれています。会員規約及び特典については, 下記をご参照ください。

www.iufro.org/membership/

IFSA

世界最大の森林学生ネットワークは、あなたの参加をお待ちしております！

IFSA のウェブサイトをご覧ください：
<http://www.ifsa.net/>

国際森林学生シンポジウムの写真 100 枚が、以下でご覧いただけます：
<https://www.flickr.com/photos/143554704@N03/albums/with/72157672895812155>

IFSA に参加希望されますか？

IFSA の第 4 回アジア太平洋地域会議が 2017 年 5 月 15 日～21 日にインドネシア共和国のボゴールで開催されます。

京都大学及び北海道大学学生協会は、すでに IFSA のメンバーです。詳細については、あなたのいる地元学生協会にお問い合わせください。

IFSA 会員ではない方：

IFSA は、森林及び関連科学の分野における登録学生団体からの新規会員登録を歓迎致します。登録はこちらから：
<http://www.ifsa.net/membership/application-form/>

質問？

IFSA のアジア太平洋地域の担当者にお問い合わせください。asia-pacific@ifsa.net

IFSA 参加募集案内

8. IUFRO-J 名称と目的

IUFRO-J は国際森林研究機関連合日本委員会の略称です。IUFRO 本部の趣旨に沿って, 森林・林業・林産業に関連する研究機関の相互連携を図り, IUFRO に関連する諸活動に貢献することを目的としています。本会の趣旨に賛同する機関・団体または個人は IUFRO-J の会員になることができます。

<https://www.affrc.go.jp/labs/iufroj/kaisoku.htm>

IUFRO-J News No. 120

平成 29 年 3 月 25 日

国際森林研究機関連合日本委員会事務局

〒305-8687 茨城県つくば市松の里 1

国立研究開発法人 森林総合研究所

TEL 029-829-8327 (国際研究推進室)

<http://www.affrc.go.jp/labs/iufroj/>

iufro-j@ffpri.affrc.go.jp

〔編集・発行〕